

- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは三ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくしよくにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

( 月 日 曜日 )

# 思い出の大忠岳

永田小学校 五年 八木 康介

ぼくは、明日友だちと大忠岳に登ることに  
 なっている。楽しみだけれど少ししんぱいだ  
 った。次の日ぼくは、大忠岳に登った。木木は  
 しずかでなんだかとてもげんそうてきなふ  
 いんきがただよっていた。大きな木や岩にも  
 びっしりこけがはえていてみどりがとてもぎ  
 れいに見えた。こけをよく見るとそのあいだ  
 からすぎのようなものが見える。岩にすぎが  
 はえていた。このすぎが何千年もたつたらと  
 ても大きい屋久すぎになると考えるとなんだ  
 がとてもふしぎなきもちになつた。けれども  
 山を登るのは、きつい。歩いているときも空  
 気がひんやりしていたが、なかなかきづかな  
 かつた。とちゅうで雨がふつてきてさらにきつ  
 く感じた。川や岩と岩のあいだをとあつて三  
 時間とちゅうと来た時うすらときりのかか  
 ったとても大きい岩が見えた。さいごは、み  
 んなスピードをあげてその岩にむかつた。

- 4 と、は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくしよとぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ）月 日 曜日

近くで見るとはなれて見るよりもとても大きく見えた。ロープをのぼるとほかのとざんし  
 の人たちがおべんとうを食べていたが、風が  
 つよく白いきりがかかっていたので、  
 すこしもどいた。道のよこにある道のような  
 ところをすすんだ。するとそこには、大忠岳  
 のさきの岩よりすこし高い場所で岩せんたい  
 を見わたすことができた。そこで食べたおべ  
 んとうは、ふつうのしよくじよりすこしおい  
 しく感じた。ここまできついさかが岩の道を

歩いてきたからこそおいしくなっていたんだ  
 と思っただ。すこしたつといつのまにかきりが  
 きえていて下やほかの山やまがすがたをあら  
 わした。いつもたいこ岩からここを見ていた  
 のでさがしたがよくは、分からなかった。け  
 れども、とてもきれいということは、はっき  
 り分かった。そのあとぼくたちは、もらいち  
 ど大忠岳の一番高いちよらう上に行ってすこし  
 してから山を降りた。帰る時をくる時とまな  
 い道だが、くるときよりはやくいけた気がし

- 4 と、は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくしとにぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

( 月 日 曜日 )

た。それに体力もあちなかつた。そうして冬  
 忠岳登山が冬つた。きつがたければ楽しく  
 てすばらしい思い出になつてとてもよかつた  
 と思う。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)

